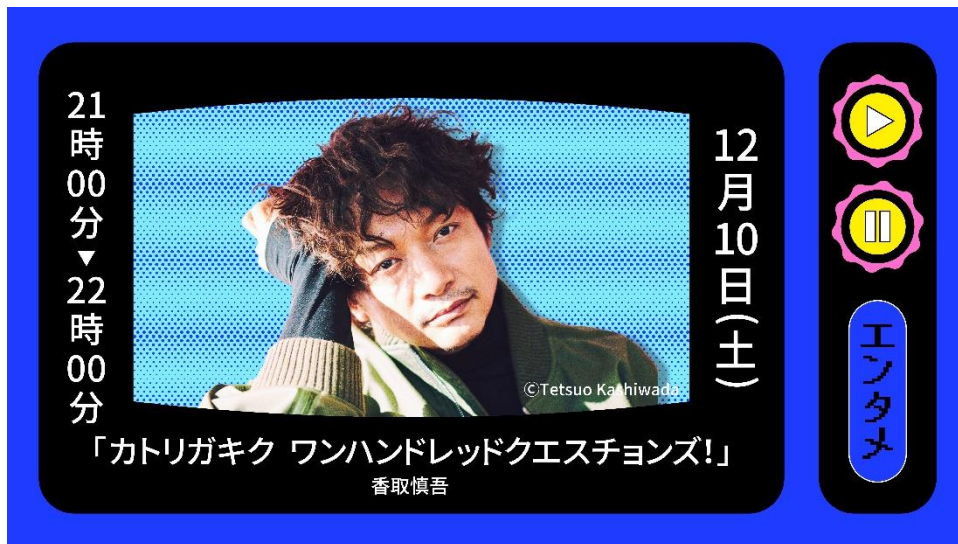


香取慎吾さんが出演決定！ 文藝春秋にまつわる様々な疑問を各キーマンに投げかける 「生！生！文藝春秋 100周年オンライン・フェス！」

株式会社文藝春秋（本社：東京都千代田区、社長：中部嘉人）は、2022年12月9日（金）と10日（土）に YouTube にて無料 LIVE 配信*中の「生！生！文藝春秋 100周年オンライン・フェス！」に、香取慎吾さんが出演することをお知らせ致します。

※一部事前収録の配信もございます。

※一部ご視聴に会員登録が必要なコンテンツもございます。



配信 URL : <https://www.youtube.com/watch?v=wEA3QrTlQeY>

文藝春秋は、「自由な心持」で語りたいというスピリットを受け継ぎながら、雑誌、書籍、文庫、新書など幅広いコンテンツを提供し、2023年に100周年を迎えます。この記念すべき周年を迎えるにあたり、みなさまへの感謝を込めて初のオンライン・イベント「生！生！文藝春秋 100周年オンライン・フェス！」を2022年12月9日（金）・10日（土）の2日間にわたり開催しております。

今回新たに、香取慎吾さんの参加が決定しました。2018年の創刊以来、『週刊文春 WOMAN』の表紙画を担当するなど、文藝春秋とゆかりの深い香取さんが、“取材される側、ではなく“取材する側、にまわって、文藝春秋の社員を次々に直撃。「カトリガキク ワンハンドレッドクエスチョンズ！」と題して、100周年を迎える文藝春秋を“丸裸、にしていきます。

創業者はあの文豪、菊池寛。彼がつねに手にしていたものは？ 会社の中になぜバーが？ 100年の歴史が詰まった、地下の巨大資料室で見つけたものは？ そしてついに、あの編集部へ――。

登場するのは、通りがかりの一般社員から、自席で勤務中の『文藝春秋』編集長、『週刊文春』編集長、株式会社文藝春秋社長まで。“取材される側、として文藝春秋と長年向き合ってきた香取さんならではの視点で切り込むトークショーは必見です。

その他すでに発表されている、スポーツ、文芸、エンタメなど各業界で活躍する著名人による対談など、全21コンテンツを堪能いただけます。

<香取慎吾さん出演番組タイトル>

12月10日(土)

<チャンネル名：株式会社文藝春秋>

21:00～22:00

「文藝春秋100周年オンライン・フェス特別企画

カトリガキク ワンハンドレッドクエスチョンズ！」

<https://www.youtube.com/watch?v=wEA3QrTlQeY>

<「生！生！文藝春秋 100周年オンライン・フェス！」開催概要>

イベント名：生！生！文藝春秋 100周年オンライン・フェス！

ブンシュンが全社を挙げた初のオンライン・イベントで、

イチ押しメンバーが大集合。なにが起こるか予測不能な2日間スペシャル！

開催日：12月9日(金)・12月10日(土)

開催形式：文藝春秋各メディアのYouTubeチャンネルにて無料LIVE配信。

主催：文藝春秋

特設サイト：<https://www.bunshun.co.jp/100th/>

※出演者・コンテンツ情報は今後、特設サイトで更新されます。

※一部事前収録の配信もございます。

※一部ご視聴に会員登録が必要なコンテンツもございます。

※内容は変更になることもありますので予めご了承ください。

※アーカイブでのご視聴も可能です（一部除く）。

<「生！生！文藝春秋 100周年オンライン・フェス！」出演者>※50音順

阿川佐和子（作家・エッセイスト）／浅田次郎（作家）／東浩紀（批評家・作家）

阿部智里（作家）／池上彰（ジャーナリスト）／磯田道史（歴史学者）／伊藤理佐（漫画家）

今井真実（料理家）／大木亜希子（作家）／大久保明子（装幀家）

片渕須直（アニメーション映画監督）／門井慶喜（作家）／香取慎吾（タレント・アーティスト）

小泉悠（東京大学専任講師）／國分功一郎（哲学者）

小林直己（EXILE／三代目J SOUL BROTHERS）／小宮山雄飛（ホフディラン）

斎藤佑樹（実業家・元プロ野球選手）／坂上泉（作家）／春風亭小朝（落語家）

砂川文次（作家）／先崎彰容（批評家）／高橋杉雄（防衛研究所防衛政策研究室長）

橋ケンチ（EXILE／EXILE THE SECOND）／谷尻萌（セント・フォース キャスター）

千葉雅也（哲学者・作家）／中野信子（脳科学者）／中村俊輔（プロサッカー選手）

成田悠輔（経済学者・データ科学者）／額賀滢（作家）／野田心優（セント・フォース キャスター）

藤田真央（ピアニスト）／ブレイディみかこ（ライター・コラムニスト）／松坂大輔（野球評論家）

三浦しをん（作家）／三浦瑠麗（国際政治学者）／三谷幸喜（脚本家・演出家）

柳家喬太郎（落語家）／ゆうきまさみ（漫画家）、他

<文藝春秋とは>

「私は頼まれて物を云うことに飽いた。自分で、考えていることを、読者や編集者に気兼ねなしに、自由な心持で云って見たい。」

『文藝春秋』創刊にあたって、創業者・菊池寛が記した言葉です。

友人の芥川龍之介、川端康成らが寄稿した創刊号3000部はわずか3日で完売。

文藝春秋の歴史はここから始まりました。

以来、100年。文藝春秋は今も、明文化された社はや社訓を持ちません。

活字もデジタルも、文芸もジャーナリズムも――。

そのすべてに菊池寛の精神が受け継がれています。

詳しくは→ <https://www.bunshun.co.jp/>